

家庭の時間の課題

- 1 製作、実習等を行っているものの、身近な生活の課題を見だし解決したり、実生活に生かしたりするなどの、題材の目標を達成するための学習活動が十分に行われていない授業が見られます。
- 2 児童のつまずきに応じた具体的な指導が行われていないなど、実習時に児童に対しての適切な関わりが不足している授業が見られます。
- 3 機器類の整備や食品の管理、刃物類の取扱いや服装、実習前後の手洗いなど、安全面・衛生面に対する配慮が不足している授業が見られます。

授業改善のための取組として（案）

各内容の指導項目を明確にし、題材の指導計画に位置付けましょう。

- 2 学年間で指導する各内容の指導項目を確認し、題材を構成します。
(小学校学習指導要領解説家庭編 p 63 参照)
- 授業前に題材の指導計画を確認し、本時の目標を必ず板書します。
- インタビューや実験・観察など、題材の目標を達成する具体的な学習活動を設定します。

児童の学習状況をきめ細かく見取り、指導しましょう。

【事前の準備】

- 各時間の目標、学習内容、評価規準の確認
- 教師による実習教材の製作
- 学習手順の板書や掲示
- 過去の作品の展示

【学習活動中】

- 児童の学習進度に対応した指導(個別指導と発展的な内容の掲示)
- 取組手順や交流の視点の再説明(全体指導) ※活動を一旦止める。

家庭科室の整理整頓、用具や機器類の点検・整備、安全面・衛生面で注意することを必ず確認しましょう。

【用具、機器類の点検・整備】

- 刃物類の整備及び数の確認
- 実習機器等の点検・整備(調理器具、アイロン、ミシン、熱源など)
- 用具の配置の仕方等

【安全面・衛生面の確認】

- 活動がしやすい服装、エプロン等の着用
- 熱源や機械などの収納や扱い方の掲示
- 食品や材料等に対するアレルギーへの配慮
- 生の魚や肉は扱わないなど、食品の適切な取扱い

【コラム】 各内容の関連を図った題材の構成及び段階的な題材の配列

内容 A と D の関連の指導の順序及び各内容の指導項目の重点の置き方を工夫し、2 学年間の大まかな流れを考えて題材を配列します。

- ① 第 5 学年で考えた題材の配列をもとに指導した内容を、第 6 学年に引き継ぐことにより、2 学年間を見通した学習を行うことができます。
- ② 家庭科で学んだことを実生活で活用できるよう、題材 1 と 2 の間に、家庭と連携を図り、家庭における実践を取り入れています。
(参考：評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 P 37)